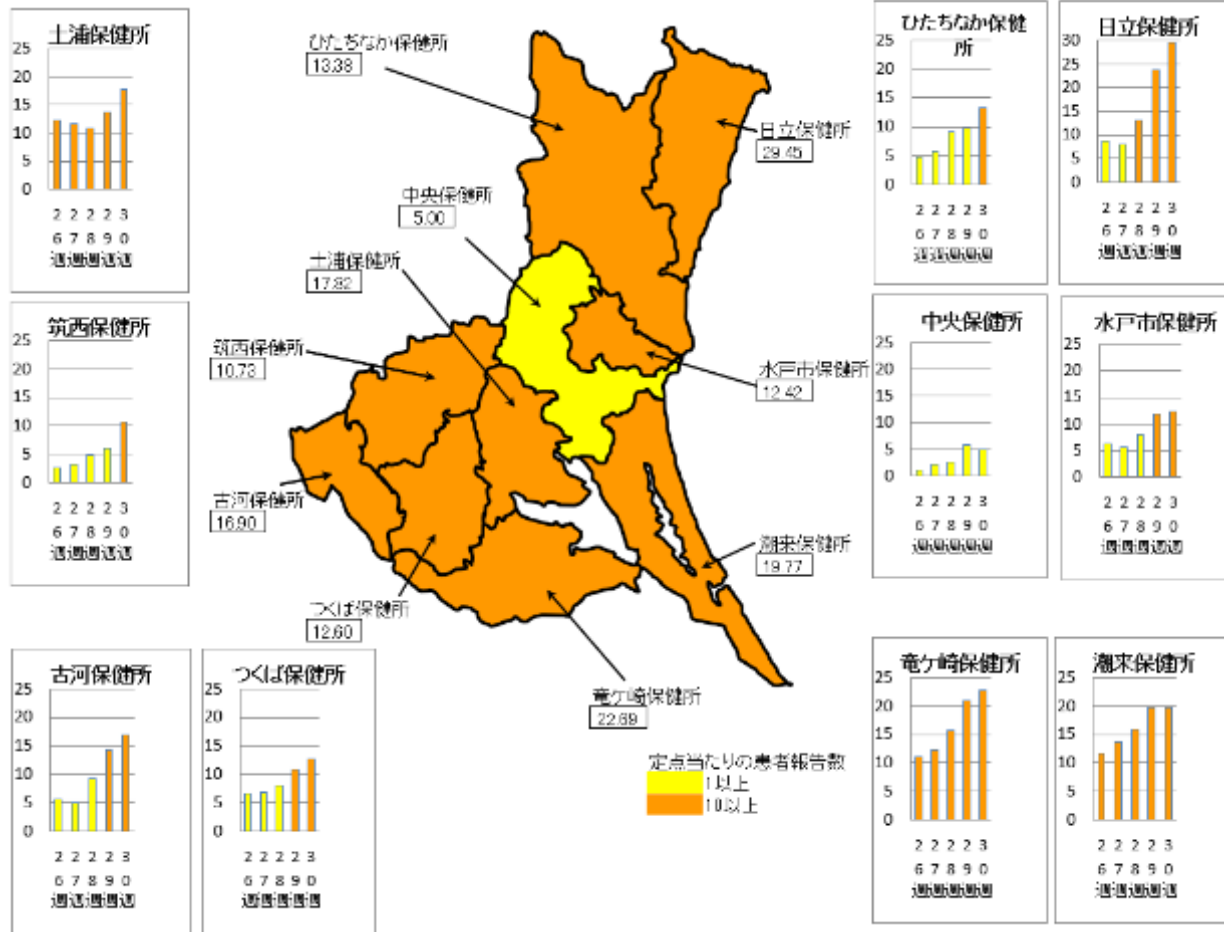


感染症診療における早期対応
に関するWeb研修会
2023年8月8日

県内の発生動向について

茨城県衛生研究所 感染症情報センター

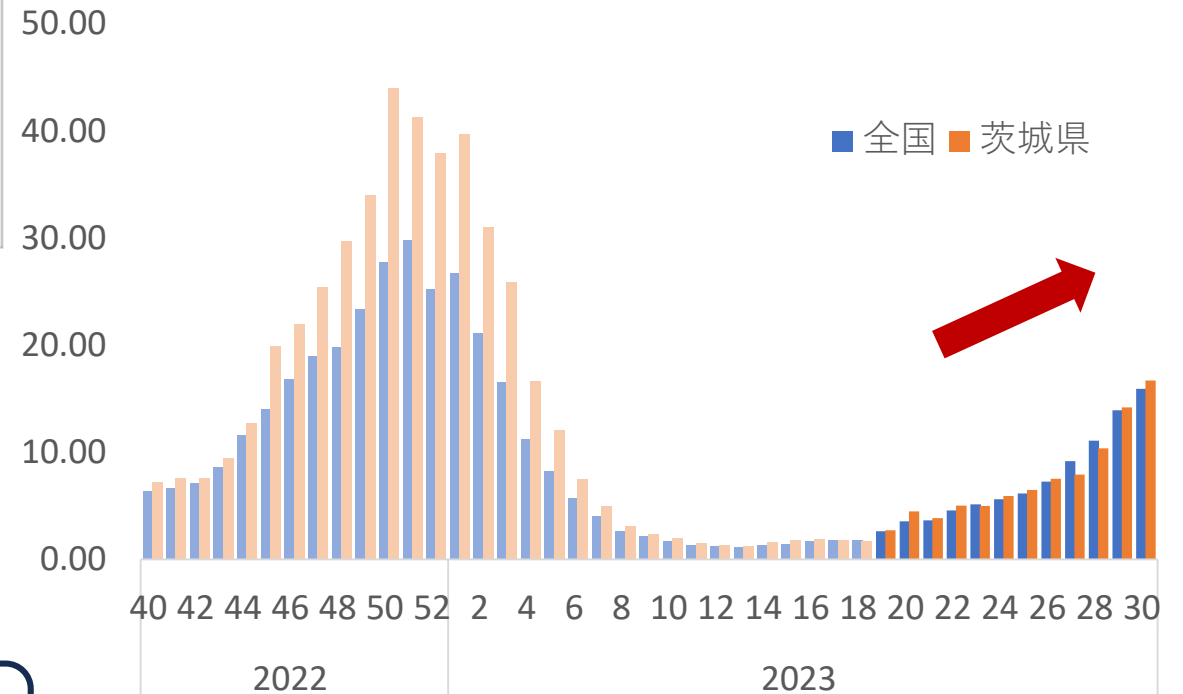
新型コロナウイルス感染症



第30週(7/24-30)定点当たり報告数

- 全国 : 15.91
- 茨城県 : 16.70

2022年第40週～2023年第30週定点当たり報告数*



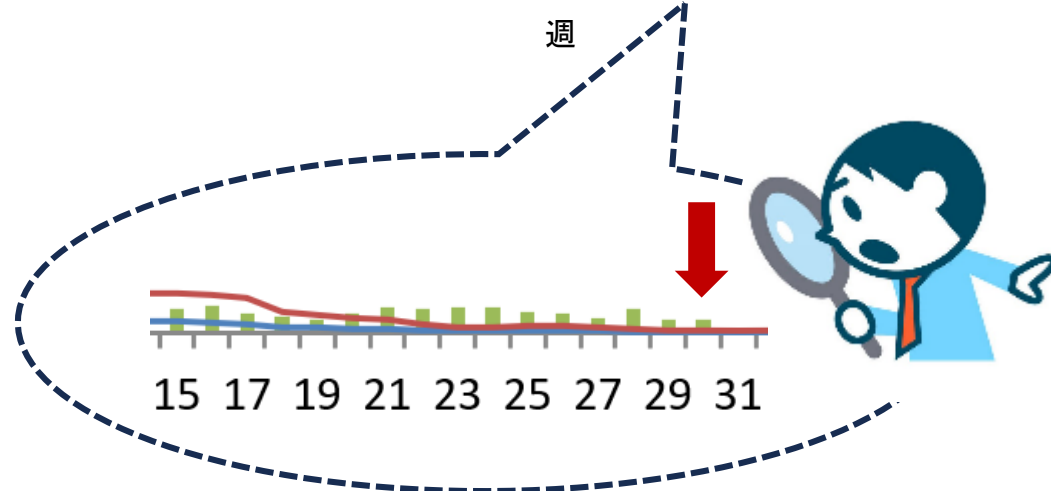
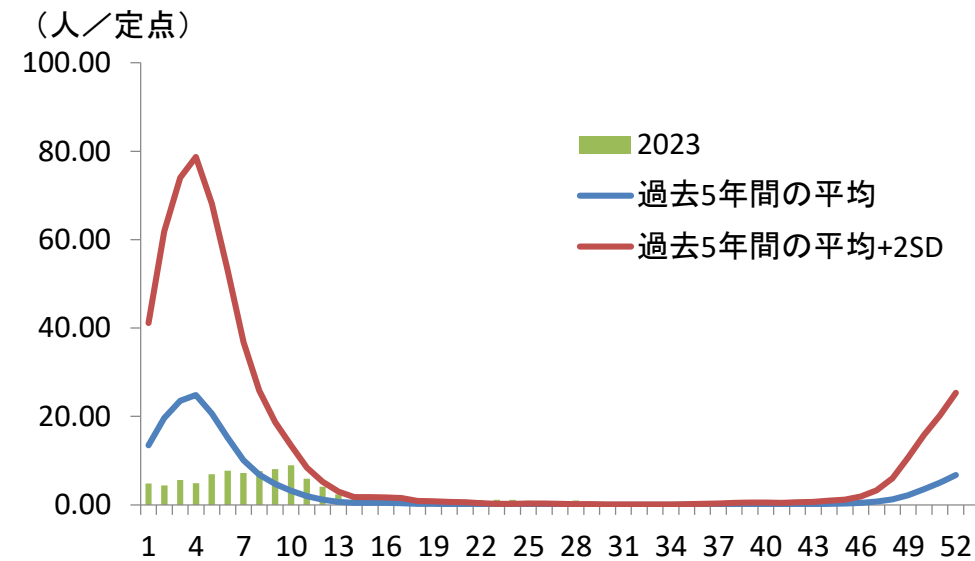
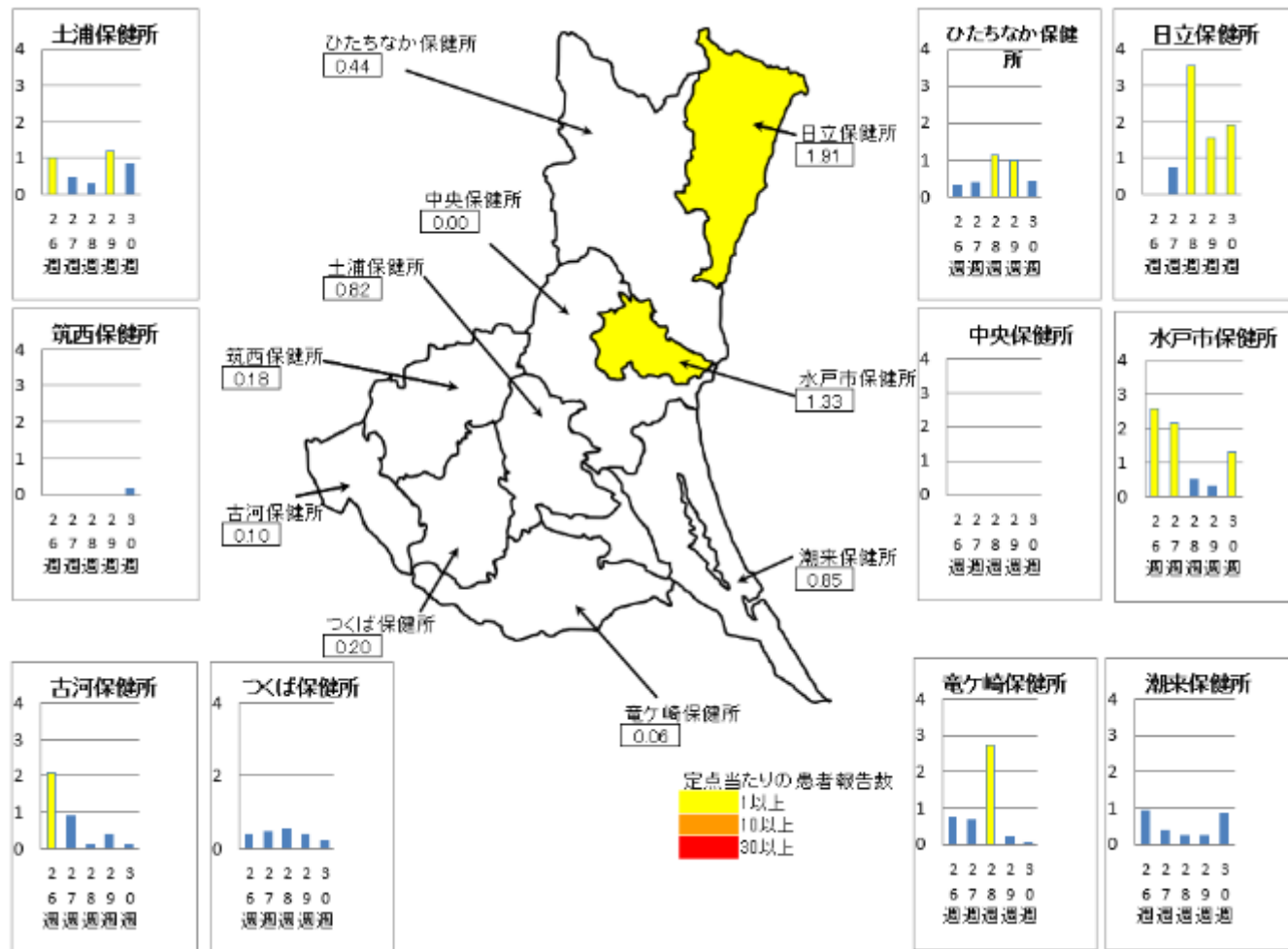
- 全国、全県で報告数は増加傾向
- ほぼすべての年齢群において報告数が増加している

*2023年第18週以前の数値は過去の報告を元に集計された参考値 (厚生労働省)

インフルエンザ

第30週(7/24-30)定点当たり報告数

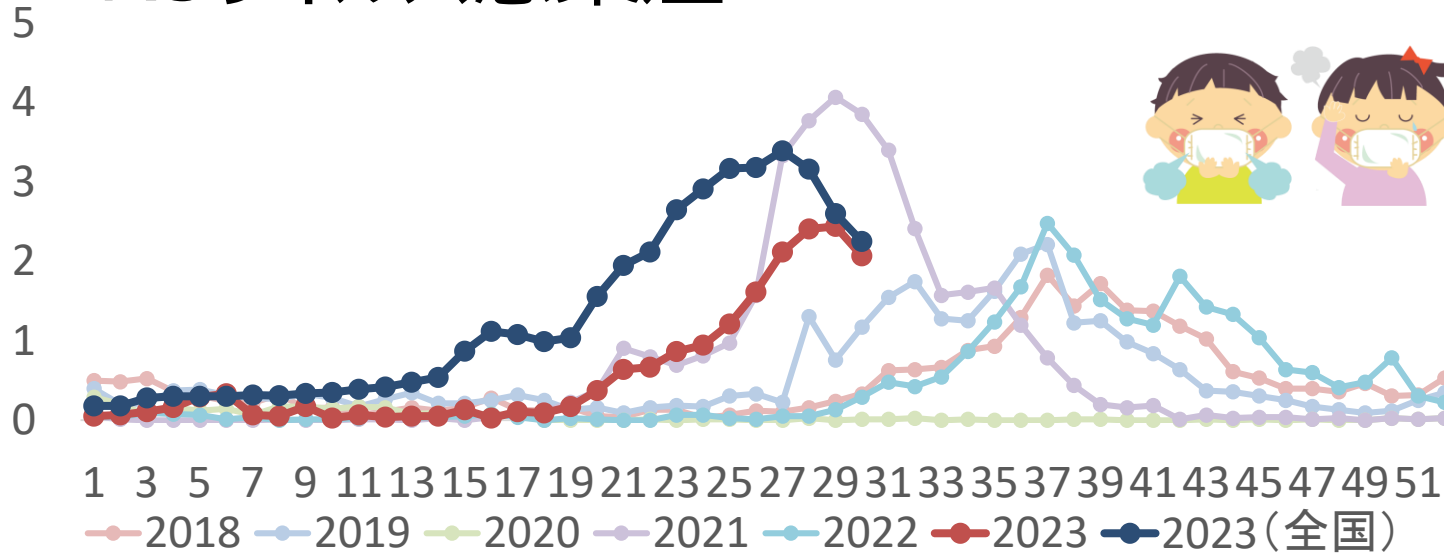
- 全国 : 1.64
- 茨城県 : 0.59



・例年の同時期と比べると報告数が多い状況が続いている
 ・主にAH3型が検出されている(28週にAH1pdmの検出)



RSウイルス感染症

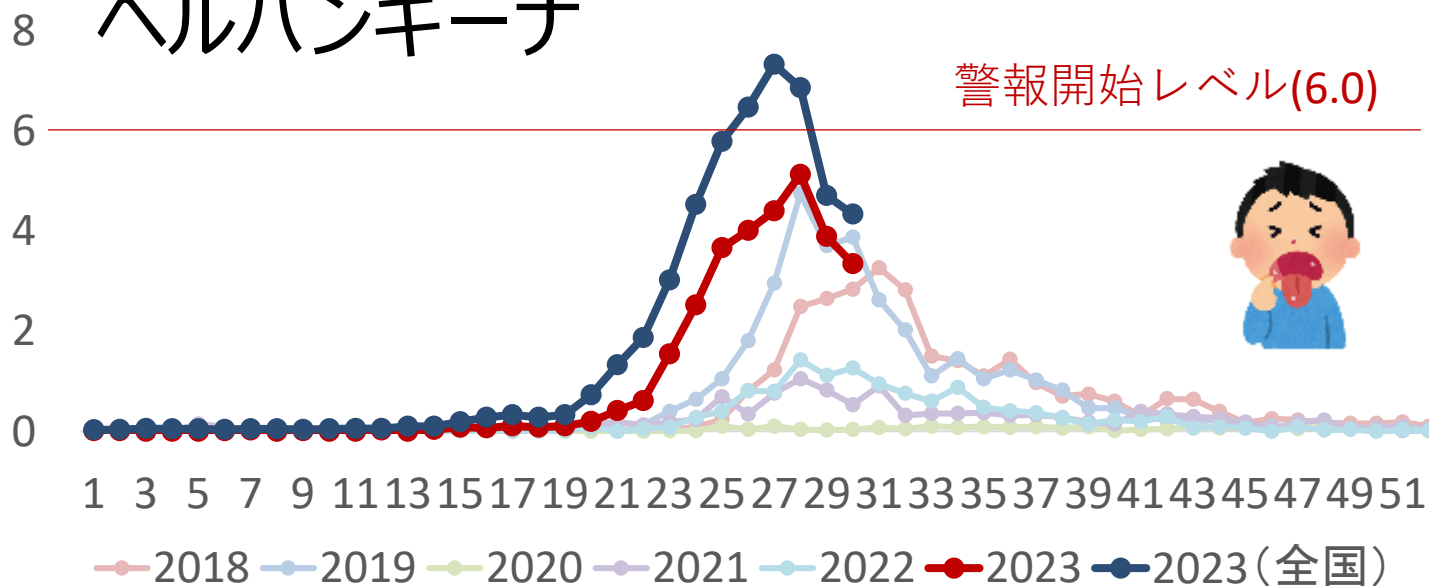


第30週(7/24-30)定点当たり報告数

- 全国 : 2.25
- 茨城県 : 2.07

- 小児の初感染で症状が重くなりやすい
- 高齢者施設で集団感染、重症例の報告あり
- 2021年は過去10年間で最も大きな流行のピークがあった

ヘルパンギーナ

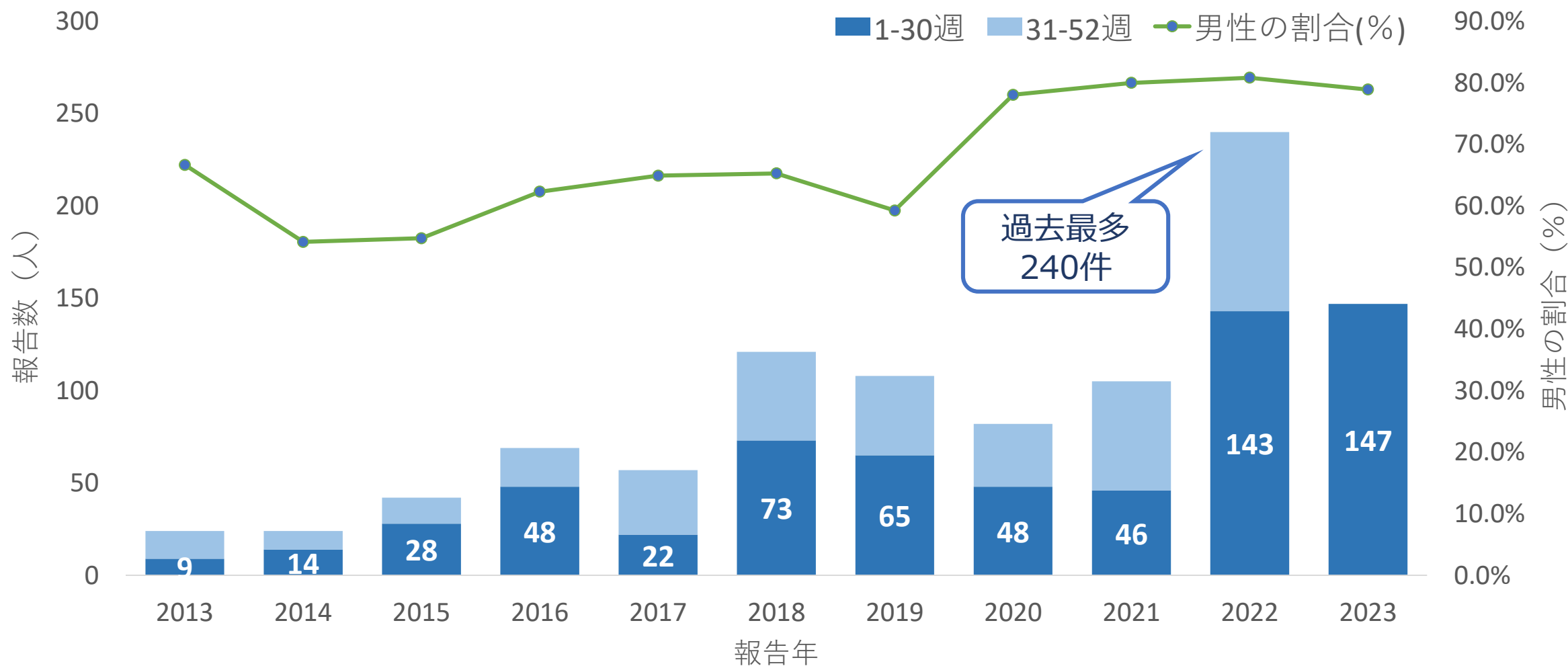


第30週(7/24-30)定点当たり報告数

- 全国 : 4.34
- 茨城県 : 3.35

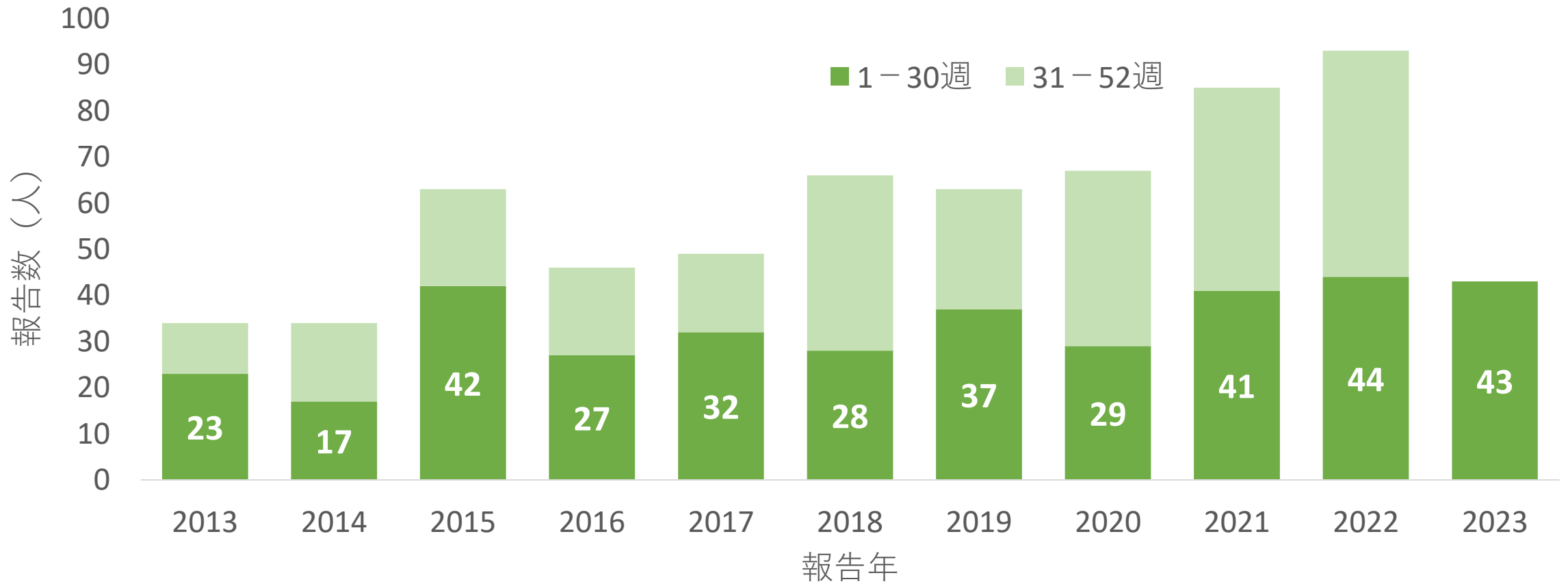
- 過去10年間で最も大きな流行
- 全国では26週に6.47と警報レベルを超える報告
- 30週は土浦保健所管内で6.71

梅毒



- ・第30週時点では、過去最多の報告数であった2022年とほぼ同程度の報告数
- ・2023年は2件の先天梅毒の報告（第8週、26週）

レジオネラ



- ・報告数は増加傾向にある。60-80歳代の男性が中心。
- ・2023年6月末-7月にかけて宮城県内の医療機関においてレジオネラ肺炎の集団発生事例あり（複数名死亡）。
- ・必要に応じ患者由来の菌株・検体（喀痰）の確保をお願いします。

* 「レジオネラ症患者の発生時等の対応について」厚労省通知・健衛発第0903001号平成14年9月3日

茨城県感染症情報センター



茨城県感染症流行情報

INFECTIOUS DISEASE WEEKLY REPORT IBARAKI

2023年第30週
(07月24日～07月30日)

【今週の定点把握対象疾患の報告状況】

- 総数の報告が11件ありました。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2件ありました。
- レジオネラ症の報告が2件ありました。
- 後天性免疫不全症候群(HIV)感染症を含むの報告が1件ありました。
- 梅毒の報告が4件ありました。
- 破傷風の報告が1件ありました。

令和5(2023)年08月03日発行

※掲載日について 週報のホームページ掲載は、原則毎週水曜日18:00以降の予定です。ただし、報告等の遅延により、掲載日が水曜日以降となる場合があります。また、年末年始や大規模災害等の場合は前もって変更掲載予定をお知らせします。

• この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。

• 全国の感染症発生動向情報につきましては、国立感染症研究所 感染症疫学センターのホームページ (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/home-idc.html>) をご覧ください。

※定点把握疾患のうち、性感染症(梅毒、クラミジア感染症、性器ヘルペス感染症、衣原体感染症)、淋菌感染症および無菌性点(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症)については、別途頁にて掲載しています。

茨城県感染症情報センター
Shigaetsu Infectious Disease Surveillance Center
茨城県衛生研究所【編集・発行】
電話：029-341-6452
FAX:029-343-9550

「茨城県感染症流行情報」

週報 定点把握対象疾患 報告数 2023年第30週

| 定点種別 | 対象疾患 | 学週別 | | | | | 全国(週報) | |
|------------------------|------------------------|-----|-----|------|------|------|--------|-------|
| | | 28週 | 27週 | 26週 | 25週 | 24週 | 報告数 | 定点数 |
| インフルエンザ | インフルエンザ | 83 | 71 | 123 | 89 | 71 | 0.51 | 7323 |
| 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) | 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) | 992 | 949 | 1244 | 1393 | 2304 | 16.71 | 9924 |
| 小児病 | RSVウイルス感染症 | 121 | 106 | 181 | 183 | 108 | 2.67 | 2091 |
| | 咽頭結核熱 | 59 | 36 | 30 | 34 | 44 | 0.63 | 1881 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 129 | 129 | 133 | 183 | 158 | 2.11 | 2581 |
| | 感染性胃腸炎 | 341 | 298 | 321 | 281 | 242 | 3.23 | 9116 |
| | 水痘 | 11 | 14 | 13 | 5 | 8 | 0.11 | 389 |
| | 手足口病 | 243 | 254 | 269 | 258 | 193 | 2.43 | 2889 |
| | 急性虫性脳炎 | 11 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0.01 | 50 |
| | 腸管性腸炎 | 65 | 14 | 15 | 15 | 14 | 0.18 | 747 |
| | ヘルパンギーナ | 261 | 330 | 285 | 292 | 251 | 3.32 | 14810 |
| | 流行性下痢症 | 7 | 5 | 4 | 2 | 0 | 0.09 | 181 |
| 眼科 | 急性黄色錐膜炎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.01 | 8 |
| | 流行性角膜炎 | 13 | 25 | 19 | 10 | 20 | 1.11 | 251 |
| 基幹 | 細菌性肺炎 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0.13 | 9 |
| | 無菌性肺炎 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0.01 | 10 |
| | マイコプラズマ肺炎 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.01 | 5 |
| | クラミジア肺炎(非クラミジア) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.01 | 1 |
| | 感染性胃腸炎(非ウイルス) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.01 | 1 |

※この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。

県内の定点医療機関数

| | |
|------------------|-----|
| 定点種別 | 数 |
| インフルエンザ/COVID-19 | 100 |
| 小児科 | 75 |
| 眼科 | 47 |
| 性感染症(梅毒) | 23 |
| 基幹 | 13 |
| 眼科 | 10 |

<定点把握対象疾患のコメント>

<インフルエンザ>
定点当たり報告数は0.51と前週の(0.55)から微増しました。11週続けて過去5年間の週報の平均+2SDの値を上回っており、同時期としてはかなり多い状況が続いています。

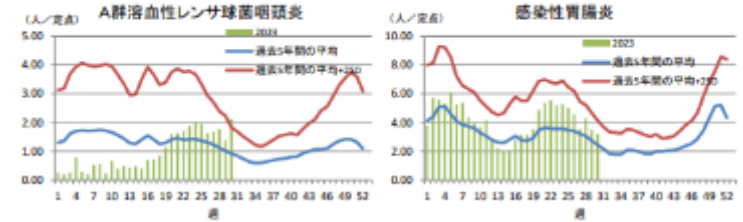
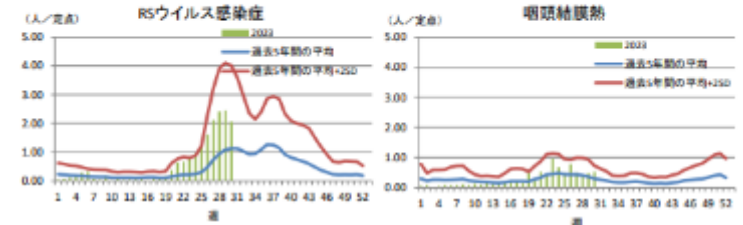
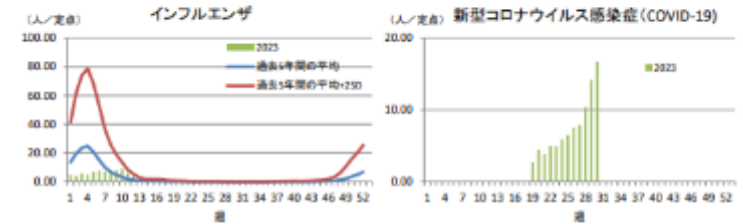
<新型コロナウイルス感染症(COVID-19)>
定点当たり報告数は16.71となり、継続して増加傾向にあります。保健所別では日立が26.41、竜ヶ崎が22.69、南栗が20.77の順に高い値となっています。なお、全国の前20週の定点当たり報告数は13.91でした。
(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/content/00113958.pdf>)

<RSウイルス感染症>
定点当たり報告数は2.67と13週ぶりに減少しました。過去5年の同じ週の平均を上回る状況は続いています。

<ヘルパンギーナ>
定点当たり報告数は3.32と2週続けて減少しました。引き続き例年よりと比べ多い状況が続いており、土浦保健所管内では4.71と警報レベル(保健所長の「Go」を超える)を超える報告がありました。

*「過去5年間の平均+2SD(標準偏差)」は、流行の目安を示す指標の一つであり、この値を超える週と過去5年間の週と比較してかなり多い値であることを示します。

定点把握対象疾患報告数【週別発生状況】2023年第30週



毎週木曜日に週報のホームページ掲載

- 全数・定点報告
- 保健所別の報告数
- 年齢群別の報告数
- コメントの掲載

茨城県衛生研究所 twitter



「いばえいけん」
で検索



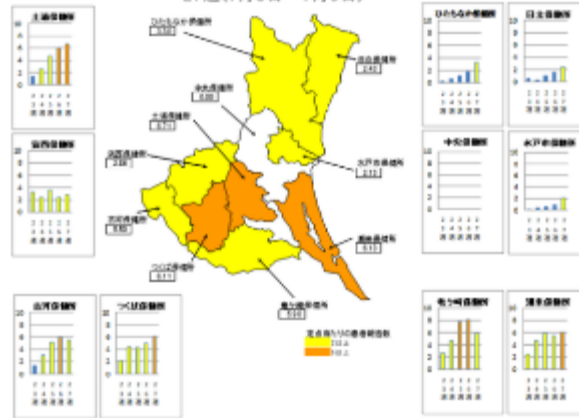
いばえいけん (茨城県)
@ibaraki_eiken

2023年第27週(6月27日～7月3日)の茨城県感染症流行情報をホームページに掲載しました。

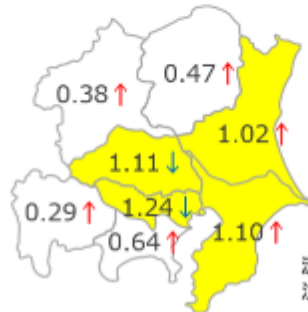
pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/e...

夏風邪の一つ「ヘルパンギーナ」の報告が増加しています。夏バテ等で体力が落ちている時は大人にも感染します。季節に合わせた食事・睡眠・運動で健康維持に努めましょう。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数
27週(7月3日～7月9日)



インフルエンザ定点当たりの報告数 (7/10～7/16)



流行開始水準 1.0
注意報水準 10.0

ツイート



いばえいけん (茨城県衛生研究所)
@ibaraki_eiken

2023年第22週(5月29日～6月4日)の茨城県感染症流行情報をホームページに掲載しました。

pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/a...

4週連続で手足口病の報告数の伸び幅が広がっています。便のウイルスが手などを経て口に入ることが感染経路の一つにあります。外出やトイレ後は、手洗いで予防しましょう。



- ・院内の注意喚起
- ・健康観察の強化
- ・感染予防対策の強化

